

溶融スラグの有効利用状況

県内一般廃棄物処理施設での有効利用状況(単位:トン)

一般廃棄物処理施設名	令和3年度			令和2年度		
	発生量	有効利用量	最終処分量	発生量	有効利用量	最終処分量
さいたま市 西部環境センター	0	0	0	5,613	5,283	330
さいたま市 桜環境センター	17,454	17,454	0	16,251	16,251	0
川口市 朝日環境センター	7,522	7,522	0	8,055	8,055	0
東埼玉資源循環組合 第二工場	4,243	4,243	0	4,629	4,629	0
川越市 資源化センター	2,815	1,725	1,090	3,198	3,176	22
合計	32,034	30,944	1,090	37,746	37,394	352

※さいたま市西部環境センターは令和2年度末でスラグの製造休止。桜環境センターに移送し、溶融スラグへ加工。

令和3年度 有効利用率  $\frac{\text{有効利用量}}{\text{発生量}} \times 100(\%) = 96.6 \%$

令和2年度 有効利用率  $\frac{\text{有効利用量}}{\text{発生量}} \times 100(\%) = 99.1 \%$